

地域 南八甲田
2008年9月20日

- [ルート] 御鼻部山→旧県道→猿倉温泉
 [参加者名] CL K.TSUSHIMA 他9名
 [コースタイム] 9月20日 横内パーキング14:15→猿倉温泉14:51~14:58→
 惣部バイパス15:20→御鼻部山駐車場15:38→就寝20:40
 9月21日 起床3:38→御鼻部山駐車場出発4:58→御鼻部山登山口
 5:31→善光寺平分岐7:00→袖ヶ谷地7:23→前谷地7:55→
 大谷地→枯木沼9:41~10:00→黄瀬川へアーピンカーブ10:50→
 松森のへアーピンカーブ11:20→黄瀬菴(昼食)12:25~12:45→
 櫛ヶ峰登山口13:05→駒ヶ峰登山口13:40→松次郎清水14:20→
 矢櫃橋15:05~15:15→猿倉温泉17:15→解散18:19

[山行記録]

横内パーキングを15分遅れで、3台に分乗し9人で猿倉温泉に向かう。霧雨。ガスで視界が悪い。猿倉温泉登山口にS.Nさんの車を置き、蔦温泉、焼山、惣部バイパスを経て御鼻部山駐車場に着く。十和田湖は見えなかった。テントを2棟設営。厚着するほど寒くは無い。持ち込んだご馳走を囲みビールで乾杯。夕食はレトルトのカレー、牛丼。日も暮れ寒くなったので男性軍のテントに移動し歓談。18:50K.Tさんが到着。焼き肉をご馳走になり少々長居してしまいました。20:40就寝。K.Tさんは車中泊。MFさんから怖い話を聞かされ、気になったけどそれなりに眠れた。

9月21日 3:38起床。テント撤収。軽く朝食。出発。5:31薄っすらと霧に煙る旧道御鼻部山登山口より、下は雨具を着け、上はTシャツの男性も。やや下り道が続く林の中は蒸し暑く、汗ばみ衣類を調節したいと思ってたら、サモダシを見つけキノコタイム。10分位でM.Oさんのレジ袋にそこそこ採れました。右側に古いコンクリートの土管が1本。886m善光寺平分岐まではタイヤの跡もあり、車の音も聞こえた。泥濘、倒木に邪魔され帽子は脱げるし、中腰がきつい。7:23袖ヶ谷地。左側に杉の景勝地が在るらしいと、探しにS.Nさんが入ったけど残念でした。前谷地過ぎてルートを外し(9:14~9:28)引き返す。この時の奮闘でM.Oさんのサモダシの袋は空っぽになりました。左に進むと両側にダケ樺がめだつ。長い藪こぎと泥濘の繰り返し。9:41右側に枯木沼。休憩と記念写真。めだつ花は少なく白玉の木が道しるべの様に咲いていた。沼の枯れ木を杭だと思っていた方もいました。まだまだ先は長く藪こぎ続く10:50黄瀬川へアーピンカーブ。11:20松森へアーピンカーブ。藪は深いけど踏み跡、赤布もあり竹は結束バンドで束ねてある。12:25黄瀬菴。ようやく昼食。湿原と乗鞍岳を眺めほっと一息。櫛ヶ峰登山口で登山者一人と会う。13:40駒ヶ峰登山口。えぐられた道は危険で、静かな山が、何故か判る。黄瀬川原流水。松次郎清水で喉を潤し自宅用にペットボトルに入れ、15:05矢櫃橋で、長めの休憩をし左に高田大岳を眺め、17:13猿倉温泉にほぼ予定通り笑顔で到着。男性軍4人は休む間も無くS.N車で、御鼻部山登山口に向かう。18:19解散式。K.Tさん、S.Nさんより予定通り無事に終了出来

たこと。登山道外したことのお詫び。そしてドライバーは疲れてるので、自宅まで気をつけてとあいさつ。スタートから下山まで先行してくれた男性軍お疲れ様でした。

足も腰も痛いけど11時間踏破した達成感でいっぱいでした。

報告 S.TANAKA



36 とんがり だけ 尖 岳 (529m) ・ 37 ぼうずだけ 坊主岳 (495m)

地 域 津軽半島・西海岸
2009年10月25日

[ルート] 大川平登山口⇄尖岳、町営山崎放牧場経由登山口⇄坊主岳
[参加者名] CL M.KIKUCHI 他 10 名
[コースタイム] フェリー埠頭駐車場 6:30→国道280号大川平より入る。尖岳駐車場 7:40~7:45
→尖岳山頂 8:20~8:30→尖岳駐車場 8:45~8:50→今別町営牧場ゲート 9:05
→牧柵駐車場 9:15→登山口 9:30→坊主岳山頂 10:20→もう一つのピーク 10:23
→下山 10:25→坊主岳登山口 10:50→牧柵駐車場 11:00~11:10→
高野崎広場 11:25 昼食 12:20→フェリー駐車場 13:30

[山行記録]

6:30)・・・フェリー集合。10 月もそろそろ終わり。里にも初霜が降りる季節になりましたが、今日は空も空気もおだやかで、楽しい一日が始まりそうです。しばらくお休みしていた E.T さん。前に会員でまた労山の仲間になってくれた S.O さん。一般会員の J.H さん、T.M さん。11 名で車は 2 台、朝の光を浴びて国道 28 号を走ります。里山の紅葉を左右にながめ、山通りを進みます。蟹田の田んぼでは黄金色の稲穂が静に刈り取りをまっています。畔には親ザル子ザルが遊び農家の人も自然と山の動物を相手に奮闘しているだろうと思いました。7:40 尖岳 P に着く。工事中で足元に注意しながら、



青森県土木
事務所尖岳中継所の横を通り

尖岳登山道

529m の山頂をめざして一直線に登ります。景色の良い少し広い場所で休憩しました。そこでは西の方に富士山のように美しく雲に浮かぶ岩木山。今が最高のブナの葉は風に舞い上がったと思うと、急にひらひらと足元に落ちてきます。前方の青森湾を見ると、秋の澄みきった空の青と海の深い青。風もなくまだまだゆっくりしたいが歩き出す。山頂にはすぐ到着。刈取りを待つ田んぼが秋の里に色添えて美しい。湾の右手前、目の前に坊主岳が私達の来るのを待っています。風が強く少し寒くな



尖岳山頂

ったので下山開始。9:05 今別町営牧場ゲートの通過出来るのを確認して車は前進。私達は 3km を歩かないで済んだのです。10:20 坊主岳山頂。もう一つのピークも 3 分で到着。晩秋の海の色は夏とは違い濃い青色で重い。そして寂しい。風がでてきて遠くには、白波も見える。10:25 下山。10:50 登山口また 3k 車に乗ってまっすぐ高野崎へ。11:25~12:20 昼食時間。私達 7 人は海辺に向って階段を降り、エチゼンクラゲのブカブカ浮いているのを見たり、遊び、潮風に身を清める。13:30 フェリー埠頭。天気にも恵まれ 2 つの山に登り、海でくつろぎ、明日への元気が続くような 1 日でした。



坊主岳山頂手前